



ゆい
しっかり者。
頼りない兄のフォロー役(?)



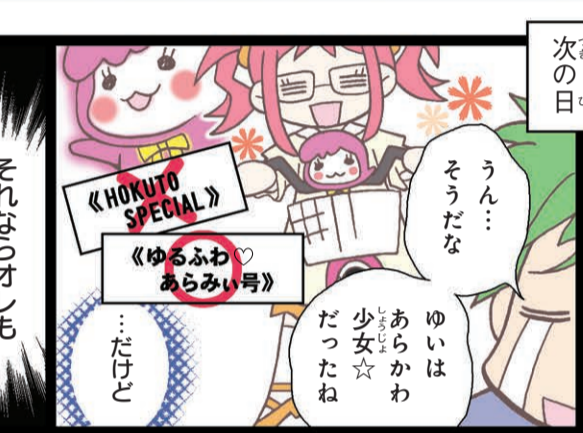
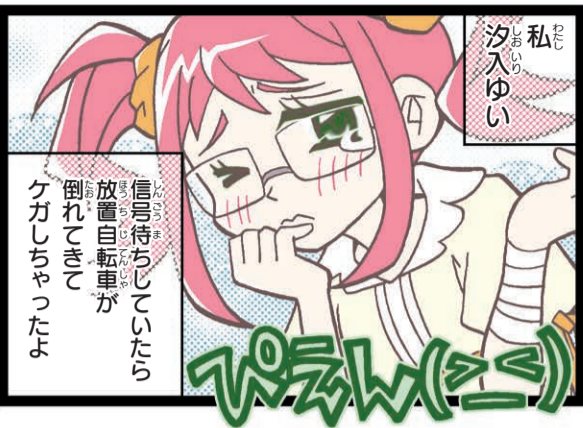
ほくと
妹思いなゆいの兄。
熱血漢でスポーツ万能



裏のおじいちゃん
ゆいと仲良しの
裏に住んでいるおじいちゃん

作・ガズキ伊緒

あらかわ少女☆ゆいちゃん



Topics

「ふらっとにっぽり」が開館しました

1月25日、荒川区立日暮里地域活性化施設が開館しました。施設の愛称「ふらっとにっぽり」は、諏訪台中学校の生徒に向けてアンケートを実施したほか、地元町会や日暮里繊維街など地域の意見を取り入れて決定されました。

館内には、日暮里区民事務所、ファッション関連産業の創業支援施設「イデタチ東京」、さまざまな創作活動ができる創作スペース・工房のほか、観光案内所やおもてなしスペース(休憩所)などがあり、今までにない新しい区の複合施設となっています。

みんなも近くに来たら、ぜひ立ち寄ってみてね。

所在地 東日暮里6-17-6
開館時間 午前8時30分～午後10時
※開館時間に変更になっている場合があります
☎(3801)7301

日暮里区民事務所は1階にあります

あらかわ 今昔ものがたり

日ぐらしの里に息づく竹の 伝統文化～お茶とお花と竹籠～

その128

あらかわで竹といえば、何を思い出す? 何々、道灌山(西日暮里四丁目)の秋田藩主佐竹様の屋敷にあった見事な竹藪だ? すごい! よく知っているね。「慈竹林」という竹藪で、お殿様の仲間内でも有名だったんだ。竹はお祭りや行事の時に使われる神聖な植物で、いろいろな物を生み出す材料としても古くから親しまれてきた。日本の伝統文化と深いつながりがあるんだよ。

日本の伝統文化、お茶とお花 日本の伝統文化として、「お茶(茶の湯)」や「お花(いけばな)」が良く知られている。外国の人にも人気だよ。

たいけんきょうしつ 体験教室でチャレンジしたことがあるお友達もいるんじゃないかな。「お茶」は茶を点てて人をおもてなしすることや、その作法・集まり(茶会)のことをいうんだ。室町時代に将軍をはじめとする武士の間でブームとなり、江戸時代の初めには町人にまで広まったんだって。「お花」は仏様へのお供えから始まり、お座敷に飾ってたのしみために生けることが室町時代に流行し

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234

執筆 野尻さん

た。お茶の世界では、安土桃山時代に茶室に季節の質素な花を飾る「茶花」が登場した。有名な茶人の千利休さんらが広めたといわれているんだよ。

お茶とお花を結ぶ籠師 お茶とお花に深い関わりを持つ道具に竹製の花籠や茶籠がある。それを作るのは籠師と呼ばれた職人だ。明治時代、栃木県にいた名人・飯塚鳳齋さんが東京に引っ越して来たんだ。その時について来た弟子の一人が武関翠心さん。たくさんの工芸展に出品し表彰されたんだって。

日ぐらしの里の花籠 昭和29年(1954)頃には日ぐらしの里(西日暮里三丁目)に工房を開いたんだよ。今でも、三代目の翠堂さんが、おじいさんの翠心さん、お父さんから受け継いだ竹の伝統文化を伝えようと、今日も竹と向き合い花籠や茶籠を作り続けているんだよ。

▲大正15年(1926)頃の翠心さん(武関翠堂氏蔵)

▲武関翠堂 花籠「赫翼」(荒川ふるさと文化館蔵)